

CONTENTS COMBAT

2017.Jun.
No.495

6

Cover Design
Favorite Graphics Inc.
Cover Photo
Taku Kobayashi
©WORLD PHOTO PRESS 2017
©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS
RESERVED.

※本文中の価格は消費税込みの
総額表示です。



【第1特集／トイガン】

006 **特集** SCOOP!
バイオハザード7 レジデント イービル(アルバート.W.モデル02)
“**トールハンマー**”登場!

032 サバゲ三等兵APS部 責任編集!
APSはやめられない!

058 **WESTERN ARMS New Products**

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY
058 COLT DELTA ELITE RAIL GUN
062 BERETTA M92FS SUPER LONG SILENCER
065 SVI SPEED COMP HG-S Ver. SERENDIPITY

【第2特集／RealGun】

022 **MEDIADAY AT RANGE
SHOOTING DEMO**
SHOT SHOW 2017
●Photos & Text by Tomo Hasegawa

050 “**C.A.T.**”
COMBAT APPLICATION TOURNIQUET
シエラエレメント・ピストル+ターニケット・クラス
●Photos & Text by HIRO SOGA

【第3特集／ミリタリー】

068 **ニッポンのカゴぶ**
072 **中東最大の兵器見本市
IDEX 2017** ●レポート：清谷信一
(Shinichi Kiyotani)

084 **The Equipments of the U.S. Force
[現用米軍装備カタログ]**
PARACLETE 空軍支給
TAN & COYOTE BROWN 特集 Part.2
●解説：松原隆 ●撮影：山崎 学

117 **Militaria Roundup!**
WWII プリティッシュ・メイドとローカル・メイド装備 Part.2

004 **COMBAT FRONT LINE**

078 **Tasmanian Tiger**
2017 New Products

094 **NEW GENERATION STYLER**
●fujiwara

104 **THE WORLD OF LITTLE ARMORY**

106 **サバゲ三等兵**
●織本知之

110 **WANCHER'S STYLE** ●織本知之

114 **ミリいじ技研**

115 **PRESENT**

128 **突撃!!びつちょりーな☆**

146 **トイガンニュース**

146 タナカ S&W M29 8 3/8インチ・カウンターポアード“トラビス・モデル”
148 タナカ コルト・バイソン.357マグナム2.5インチ“Rモデル”《ニッケル・フィニッシュ》
149 WA コルトMkIVシリーズ'70《オール・シルバー》

150 **従軍特派員はレディ**
ヴェトナム戦争リエナクトメント2016
●Photo & report by Robert Bruce

154 **兵装嗜癖** ●by fujiwara

156 **DJちゅうの妄想雑記ノート**

196 **Goods & Accessory**

200 **中田商店グッズ**

202 **S&Grafグッズ**

132 **読んで覚える TakuのHOW TO Shooting 射撃のススメ**

134 **US SHOOTING LIFE**

138 **アラフォーズ!**

139 **異色のミリタリーアニメ『幼女戦記』に注目せよ**

140 **トイガンズ・ジャンクション**

173 **GAME OVER THE TOP**

176 **編集長日誌**

177 **バックナンバーリスト**

178 **ミリタリー・コレクション**

180 **レア・ミリタリー・コレクション**

182 **A STITCH IN TIME**

183 **2017 JCKM/JKG鍛造部会合同カスタムナイフショー**

184 **狩野健一郎のシネマ放浪記**

185 **狩野健一郎の新作DVD紹介**

186 **蛙のゆびさき**

188 **戦車兵通信 WORLD OF TANKS**

190 **コンバットマガジン・インフォメーション・センター**

191 **読者プレゼント応募方法**

192 **編集後記**





SHOT SHOW 2017

SHOOTING DEMO

MEDIA DAY AT RANGE シューティング・デモ

サブレッサーこそ、実際に撃たなければさっぱりわからない。
抑音効果、命中精度、扱いやすさを含めた総合力。
撃てれば性能差は一目瞭然。ハッキリと判る。
一事が万事、銃は試射してみてもこそ性能が判るもの。
そんな理由から、ショットショーの前日に大規模なシューティング・デモンストレーション、
試射会が開催されている。それが「メディアデイatレンジ」だ!!

Photos & Text by Tomo Hasegawa

そ もそも、ガンの面白さは見て
るだけでは解らない。カッコの
善し悪しなどの外観だけではないし、
陳列品を触ってみても、解説を聞いて
もよく伝わらない。使い勝手やデザ
インコンセプトを含め、銃としての魅力
は実射性能など“実用面”抜きには語
れないからだ。

もっとも、長年の射撃競技や訓練受
講を経て、銃に触れば多くの事が推察
できる。とはいえ、肝心な実射性能は
撃って初めて分かるというわけだ。
そのためショットショーでは本イベ
ントの開催前日に、試射会が行なわれ
ている。当初は各社個別に射撃場を用
意していたが、何社かが提携するよう

になり、徐々に規模が拡大。『メディア
デイ・シュート』として、今ではすっ
かり大規模&恒例化。ショットショー
の試射会版という一大イベントとして
定着。本会場とは全く違う、大きな効
果を発揮しているのだ。
ラスベガスからクルマで北に30分ほ

ど行った“ボールダーシティ”。その郊
外の広大な砂漠に設けられた『ボール
ダーシティ ライフル&ピストル』射撃場
が会場だ。40ある射撃レーン全てがメ
ーカーで埋め尽くされ、展示された銃を
実際に撃つ事ができる。仕事ながら、ガ
ン好きには最高のひとときである。
とはいえ、ただ撃ってるだけでは判

らない。トリガーの滑らかさやストロ
ーク、そしてキレの良さ。発射時の反
動、リコイルショックの大きさや、シ
ョックをいかに吸収しているか？ 等
など、“ガンッ!!”とくる一瞬の衝
撃に潜む、微妙な違いが捉えられて、は
じめて銃の善し悪しが判断できるのだ。
各社、自らの製品だけでなく、関連

各社のアイテムを装備しているのも、
思いがけず、気になっていたダット
サイトやスコープが試せたり、意外な
発見があるもの。ショットショー本会
場とは全く違う、試射会ならではの魅
力がたまらない。
さっそく、その会場に行ってみてみ
ましょう!

APSはやめられない!

特集

サバゲ三等兵APS部 責任編集!

CONTENTS:

APSを知って1年と少し。

ちょっといい感じの時もあったけど、大体はろくでもない結果がついて回る。

でも、楽しいことにはまるで変わらない。

いや、むしろ前より魅力を感じてきている。

聞けば、公式記録会などに参加する人数も増えているという。

「そうだよ! こんなに面白いことをやらないのは損だ!」

サバゲ三等兵APS部が、再び立ち上がった!

昨年好評を博したAPS特集2017年版!

汗と涙と笑いの18Pで一挙お届け!

●Photo: 織本知之

P34-37 サバゲ三等兵 featuring 戦え!! ぴっちょりーな☆ 精密射撃合宿in仙台!

P38-39 腕利きたちに聞く! 「あなたのスポーツガンを見せてください!」

P40-41 SANTOUHEI 知恵袋

P42-43 Spin off Graffiti “On The Road To Sendai”

P44-47 「APSってやっぱり面白いですよ?」

P48-49 証言でつづる「APSの天才児、Taku Kobayashi」

めざせ、7月16日。
第27回APSカップ東京本大会!



●レポート:清谷信一 (Shinichi Kiyotani)



ニマーオートモーティブ社のジャイス。BAEシステムズ・ランドシステムズ・サウスアフリカ(現デネル・ピークル・システムズ)が開発したRG35装輪装甲車のライセンス品だが、防御力が強化されており、車内容積も拡大され、車幅や戦闘重量も増大している。戦闘重量は27tでペイロードは5.2t。全長6.854m、全幅2.753m、全高2.650mである。600馬力のディーゼルエンジンと6速のオートマチックトランスミッション、独立懸架方式の油圧式サスペンションを採用して最大速度は105km/h、登坂力は60%、旋回半径は17mである。防御力は明らかにされていないが、基本的にはNATO規格のレベルIVであり、対地雷防御も同様にレベルIVないし、レベルIV Bと極めて高く、車体側面のIEDに対する防御も充実している。展示されたジャイス6×6はICV(歩兵戦闘車)型で、スロバキアのEVPUのRWS(リモートウェポンステーション)、ツラ30が採用されている。ツラ30は安定化装置が装備されており、30mm機関砲、2A42を主砲とし(Mk44ブッシュマスターもチョイスが可能)、同軸に7.62mmないし12.7mm機銃を装備する。主砲の仰角角は-10~+70度で、砲塔左側に対戦車ミサイルランチャー2基を搭載できる。6×6の他に、4×4タイプも存在する。



会場にはUAE陸軍がイエメンに派遣して被弾したジャイス4×4が展示されていた。乗員には被害がなく、同車の高い防御力を示していた。

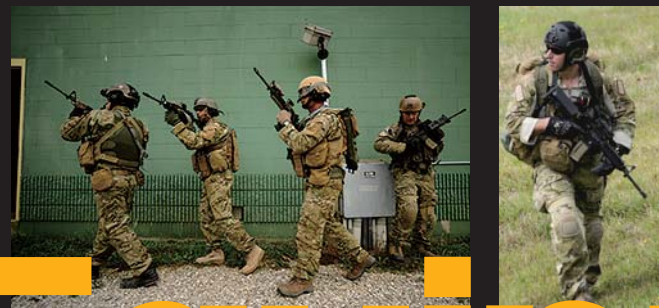
デモンストレーションで登場したUAEのデザートルクレール。

中東最大の兵器見本市 INTERNATIONAL DEFENCE EXHIBITION

IDEX 2017

湾 岸諸国を中心とした中東は兵器産業の一大マーケットである。近年はアラビア半島のイエメンや、内戦が続くシリアなど、情勢が不安定化して市場は拡大している。その中東で最も大きく、また世界有数の軍事見本市がIDEX (International Defence Exhibition and Conference: 国際防衛展示会) である。IDEXは隔年で行なわれているが、今年もUAE (アラブ首長国連邦) の首都アブダビで2月19~23日にわたって開催された。主催国のUAEは自国の軍事産業振興に非常に熱心だ。

UAEの軍事予算は157億ドル (約1兆7千億円)、GDPの約7.3%を使っている (2015年)。この自国の国内マーケットを基礎とし、兵器産業を興し、輸出にも力をいれている。今回はそのUAEや中東のメーカーを中心に新製品を紹介しよう。



Paraclete社 Floatation Vest (コヨーテ・ブラウン)

1998年に支給されたSPEAR (SPECIAL OPERATIONS FORCES PERSONAL EQUIPMENT ADVANCED REQUIREMENTS: アメリカ軍の特殊部隊向けに製作された90年代後期の統合個人装備)のParacleteバージョン。ファステックの製造は2003年。ピンク系のMOLLEルーブとコヨーテ・ブラウン生地を使用しているため2004年以降の製作と思われる。



The Equipments of the U.S. Force

[現用米軍装備カタログ] 第152回

PARACLETE 空軍 COYOTE BROWN

支給 TAN & 特集 Part.2

●解説:松原隆
●撮影:山崎 学
●協力ショップ:LAZY CAT
(<http://lazycat.jp/>)
TRI'S (旧特工工房)
(<http://tri-ss.com/>)
Gamis (<http://www2.ocn.ne.jp/~gamis/>)
トイソルジャー (<http://www.toysoldier.com.hk/>)
SPARTAN AIRSOFT TACTICAL
(<https://www.facebook.com/SPARTAN-AIRSOFT-TACTICAL-124800650941702/>)